

昼休みのサイクリング

今年は記録的な猛暑が続き、冷房が効いた執務室にこもりがちになります。昼休みの気分転換で、近くの中島公園までサイクリングに行くことがあります。親子連れがテントを張って水遊びをしたり、修学旅行生が楽しそうに散策しているのも視界に入り、心身のリフレッシュが図られます。

先日は、その公園内にある北海道立文学館で特別展「天災地変人禍に抗して―北海道の災害と文学―」が開催されているのを知り、立ち寄ってきました。北海道開発局小樽開発建設部がインフラ整備と文学との繋がりを丹念に調べてホームページで公開したほか、市立小樽文学館と連携して「後志インフラ文学展」を開催した記事を見ていましたので、今回の展示方法、インフラ整備との関わりにどの様に触れられているかなどに関心を持ったためです。特別展では、過去300年以上の間に発生した大地震や津波、台風、水、噴火、泥石流などの天災地変に加え、火災、疫病、熊害、炭鉱事故、戦禍など広範な災害に遭ってきた歴史と文豪との関わり、数十篇の文学作品とその解説が掲示されていました。

船山馨の「石狩川」、三浦綾子の「泥流地帯」、渡辺淳一の「白夜」などの今でも有名な作品をはじめとして、小池弓夫ほかの「地底の葬列」、松本清張の「屈折回路」、最近では北海道胆振東部地震やブラックアウトなど我々が担うインフラ整備に関連した作品も数多くあり、冷房の効いた館内で1人静かに先人の苦勞に想いを巡らせました。読書の秋も充実したものになりたいと思い、文学館を後にしました。

(雪氷チーム上席研究員 西村 敦史)

* * * *

表紙左上記号 ISSN 2432-2652の説明

国際的なコード番号である ISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号)は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館 ISSN 日本センターから付与されたものです。